



ゴマサバ 太平洋系群

主な漁業と漁期

未成魚・成魚 まき網: 周年
棒受網: 周年

生態

ゴマサバは日本周辺で漁獲される代表的な浮魚で、サバ節や切り身、鮮魚と幅広く利用されています。

●分布・回遊

静岡県海域に分布するゴマサバは太平洋系群に属しています。太平洋系群の0歳魚は親潮域も含めた北西太平洋の広い範囲に分布しています。伊豆諸島周辺～北海道海域を回遊する群れの他にも、黒潮周辺の沿岸域に周年分布する群れもあり、一部の高齢魚は東シナ海まで回遊すると推定されています。成魚は主に黒潮周辺域に分布し、マサバと比べて暖水性、沖合性が強いとされています。

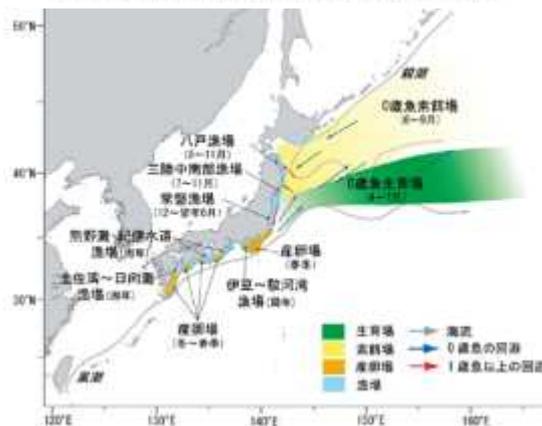
●産卵期・産卵場

産卵期: 12月～翌6月で、最盛期はおよそ2～5月です。
産卵場: 主要な産卵場は伊豆諸島周辺海域や熊野灘～薩南海域です。

●成長・成熟

寿命は6歳程度です。1年で20cmを超え、体重300g程度に成長します。その後は成長速度は遅くなり、4年で30cm後半、体重600g程度に成長します。およそ、2歳で成熟します。

ゴマサバ太平洋系群の生活史と漁場形成模式図

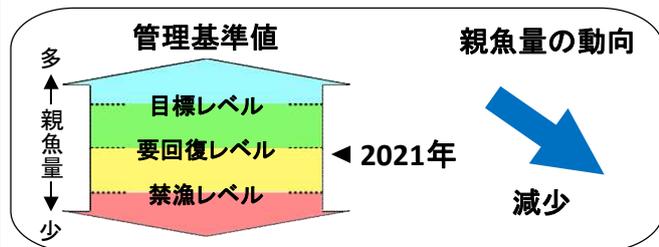


(国研)水産研究・教育機構資料

漁業・資源動向

【資源】

ゴマサバ太平洋系群では、最大持続生産量(長期的に漁獲量が最大となる資源状態を維持する漁獲量。以下、MSY。)に基づいた資源管理を行っています。



- 2021年の親魚量は42千トンと推定され、MSYを実現する目標レベル(158千トン)、要回復レベル(50千トン)とともに下回っています。また、漁獲率はMSYを実現する水準を上回っています。
- 親魚量の動向は近年5年間の推移から減少と判断されます。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

簡易版

http://abchan.fra.go.jp/digests2021/simple/2021_07.pdf

詳細版

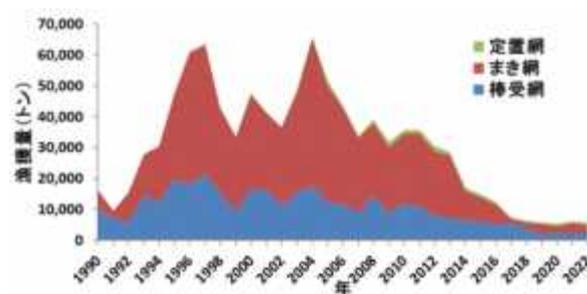
<http://abchan.fra.go.jp/digests2021/details/202107.pdf>

用語解説

<http://abchan.fra.go.jp/digests2021/rule/glossary2021.pdf>

【漁業】

- 静岡県では、主にまき網と棒受網により周年漁獲されます。
- 棒受網漁船は、主に伊豆諸島の三宅島周辺海域で操業しています。
- 県内の水揚量はゴマサバ太平洋系群の資源量減少に伴い、近年は減少傾向にあります。



ゴマサバ漁業種類別水揚量の推移
※県内主要4港(小川、沼津、静岡、伊東)合計

担当者の一言: 県内ではサバ節や切り身等、加工用として需要があります。旬は夏季から冬季とされています。

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所資源海洋科 054-627-1817